今年を一年を振り返る

一年の話題をひろって…

二世紀の第一歩として、踏みだした一九七八年も、残すところ、あとひと月で終ろうとしています。

これから四年間の市政を託す市長選挙も終り、さらに飛躍の二世紀をめざしてスタートした、ことしです。

また、向こう二十年間の住み良いマチづくりをめざす〝市新総合計画市民協議会〟も発足するなど、二世紀のスタートには、ふさわしい一年でした。

今月は、いろいろな話題があったことし、市政についての話題をひろって、この一年を振りかえってみました。

苦しい台所の中で効果的活用を

○…二世紀の第一歩として踏み出した、ことしは三月の市長選挙の関係で今年度の当初予算（骨格予算）六十二億三千十四万円でスタートしました

○…これから四年間の市政を託す市長選挙は、三月五日、投票が行なわれ原田市長が五選を果しました。

六月に開かれた第二回定例会において「苦しい台所の中で、市民の福祉を守り、より快適な生活環境づくり、安定した経済基盤の確立、二世紀を担う人づくり」など四本の柱を重点施策とする、原田市長のことしの施政方針が述べられ、政策予算として、十一億六百四十四万円が補正されました。

また、市長選と同時に行なわれた、市議会議員補欠選挙では、児玉、田下の両氏が当選されました

○…増毛・小平・留萌市の一市二町がより均衡ある発展をするため一月には、〝留萌地域南部圏行政連絡協議会〟（会長原田市長）が発足しました。

また、三月には、向こう二十年間の住み良いマチづくりの基本的構想を、市民の手で作り上げようと、〝市新総合計画市民協議会〟（会長古川数登）が発足し、さる十一月二十七日には、市長に基本構想が答申されました。

○…一方、企業誘致と大学設置を積極的に調査検討しようと、十月には、市議会議員を中心に〝留萌市地域振興対策検討調査会〟（会長野原忠治）が発足しています。

快適な近代都市に

○…衛生都市留萌をめざして、四月からは市外二町衛生センターが本格的に稼動しました。

また、下水道事業もことしから本格的に工事に着手し、雨水管を南山手通り（明元町五、副港橋から夏井商店付近まで）に百八十メートル布設しました

○…ことしから、年次別ブロック方式で昭和五十七年を完成目標に、総額二十四億三千三百万円を投入して、高砂区画整理事業が着手されています

また市民の健康増進と憩いの場として早期完成が待たれていた浜中運動公園も、一部工事が始められました。

○…マチの動脈である道路は、ことし、延長五千七十四メートルにおよぶ舗装新設工事や改良工事を行ないました。

これで、市街地舗装率は四十五パーセントとなりました。

東橋架換工事も、ことしから三か年計画で着手され、延長七十二メートルの永久橋建設工事は急ピッチで進められています。

○…原田市長の一人一室をめざす公営住宅の建設は、ことし、塩見町に三階建一棟十二戸が建設され十二月中旬に入居予定となっています。

○…さる五十一年から本年度まで継続して進めてきました塩見町、三泊町地区の上水道拡張事業は、八月五日ですべての工事が終りました。

市政この一年

▽一月　5日留萌市公設魚市場がオープン　10日留萌地域南部圏行政連絡協議会（会長原田市長）が発足　24日第一回臨時市議会開会　28日市外二町衛生センターが試運転を開始

▽二月　11日第二回冬まつりが開催される　13日第二回臨時市議会開会　19日第九回道民スポーツ管内冬季大会で留萌市が九連勝を記録／ソ連カゼが管内に流行し、臨時休校が続出　24日この冬一番の氷点下二二・二度を記録

▽三月　5日市長選・市議会議員補欠選挙で原田市長が五選、児玉氏、田下氏が当選する　18日市議会第一回定例会開会　30日留萌市新総合計画市民協議会が発足／八年ぶりの大雪を記録（積雪140センチ）

▽四月　1日留萌市に振動規制法が適用になる　15日市立総合病院内に医療相談室が設置　20日1歳6か月児検診を始める　27日第三回臨時市議会開会／市内の水田面積、三分の一にあたる二百八十四ヘクタールの減反が配分される

▽五月　21日第十七回市民公園まつりを開催

▽六月　9日みんなの市政教室がスタート　12日第二回市議会定例会開会　17日少年消防クラブが発足　23日日ソ友好親善道北市民使節団として市内から七名がサハリンを訪問　29日姉妹都市ウランウデ市へ安代康二氏と古川数登氏が訪問

▽七月　10日市人事異動で緑化事業管理室を設置　14日第四回臨時市議会開会／農業委員会委員選挙

▽八月　3日三五度の猛暑を記録　留萌測候所開設以来の記録　10日五年ぶりの集中豪雨（106ミリ）を記録、床上浸水六十五帯帯、床下浸水二百十五世帯で被害総額一億二百万円となる　21日引揚・船殉難者慰霊祭がしめやかに行なわれる

▽九月　14日第三回市議会定例会開会

▽十月　13日第五回臨時市議会開会　22日ことし新しく造成されたマサリベツ桜の森で市民植樹祭を開催　31日留萌市地域振興対策検討調査会（会長野原忠治）が発足

▽十一月　3日市文化奨励賞を阿部はつ氏と北誉会（代表阿部富久）に贈る　13日留萌市栄誉賞に若松勉選手（ヤクルト球団）が決まる　27日　市新総合計画市民協議会から市長に基本構想が答申される

▽十二月　8日第四回市議会定例会開会予定

生活優先の福祉社会に

○…長い間、社会に貢献されてきたお年寄りが、〝健康で生きがいのある豊かな生活〟を送っていただくために、市の独自の施策として六十九歳の方の入院費に限って、十月から無料としました。

また、ひとり暮らしの老人や重度身体障害者の方々が明るいコミニュケーションを深めていただくため、ことしも十三台の福祉電話を設置しました。

○…市民の健康を守る国民健康保険は、ことし、やむを得ず保険税を引き上げましたが、加入者への助産、葬祭費支給額を図りました。

○…管内のセンター病院として、施設充実が進められている市立病院に、新たに腹部臓器に威力を発揮する〝超音波診断装置〟が配置されました。

また、医療問題に悩んでいる方のために、市立総合病院内に医療相談室が、四月から発足しています。

○…出稼ぎをしない明るい生活を築いてもらうために、二月からは市有林の伐採作業に、六十名の季節労働者が就労しました。

○…中小企業に働く人たちの共済事業として、五十年にスタートした《勤労者共済制度》には、八百七十名が加入しており、加入者への、ことしの支給額は、四百万円で、年々、制度の運営も軌道にのりつつあります。

文教都市発展のために

○…教育施設の充実として、ことしは、二か年計画で、総工費約二億八千万円を投入して、潮静小学校の改築に着手しました。

鉄筋コンクリート製二階建ての新校舎は、十二月中旬に完成する予定です。

○…市民のスポーツおよびレクリエーション等の普及と健康な体づくりの場とするため、夜間照明を備えた、市民運動広場が、旧留萌高校跡地に建設されています。

市栄誉賞第1号になった若松選手

市栄誉賞

留萌市栄誉賞第一号に
ヤクルト スワローズ 若松勉選手を

郷土の誇りとする市民または、留萌市と関係の深い方で、スポーツ、文化、芸能などに貢献し、優秀な成績をおさめた方の栄誉をたたえようと、さる十一月十三日、市議会文化、スポーツ団体の関係者が集まって協議した結果、留萌市栄誉賞の第一号に留萌市出身で、ことしのプロ野球で最優秀選手（MVP）になった、若松勉選手（ヤクルト球団）が決まりました。

■若松勉選手のよこがお

昭和二十二年四月十七日、留萌市に生まれる。三十一歳。

三十八年、東光小学校を経て留萌中学校を卒業する。北海高校に入学してからは、二年連続で夏の全国高校野球大会に出場

四十一年には、北海道電電公社に入社、ノンプロで活躍する

四十五年に、ヤクルト球団に入団、これまでオールスター戦に六回出場し、首位打者を二度獲得している。

ことしは、セ・リーグの最優秀選手になり、また、日本シリーズでは優秀選手賞を受賞するなど、ヤクルトの中堅選手として、ますます活躍が期待されています。

完成間近かの潮静小学校